

CASBEE[®]新潟 | 評価結果



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2008年版
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.2)

1. 建物概要

建物名称	やしろだ苑	
建設地	秋葉区 矢代田字三沢沖1234-1他6筆	
用途地域	第1種住居地域	
建物用途	病院,	
竣工年	2012年2月 予定	
敷地面積	5,586.08 m ²	
建築面積	2,535.69 m ²	
延床面積	2,320.04 m ²	
階数	地上F1	
構造	S造	
評価の段階	実施設計段階評価	
評価の実施日	2011年8月22日	

2. CASBEE新潟の評価結果

	B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{51}{49} = 1.0$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★		

3. 新潟市の重点項目の評価

重点項目	平均スコア	評価	項目	スコア
1. 長寿命化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	3.2		バリアフリー	3.0
			維持管理	3.5
			更新性	3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために	3.4		耐震・免震	3.8
			信頼性	3.0
3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	3.0		雨水排水負荷低減	3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	3.0		建物の熱負荷抑制	3.0
			自然エネルギー利用	3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	3.0		節水	3.0
			リサイクル材の使用	3.0
			再利用可能性向上	3.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	2.5		生物環境の保全・創出	2.0
			敷地内温熱環境の向上	3.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	3.0		まちなみ・景観への配慮	3.0
			地域性への配慮、快適性の向上	3.0

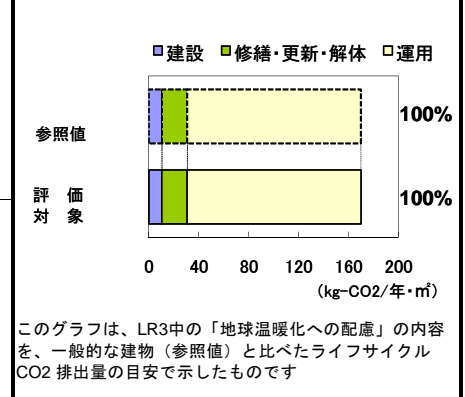
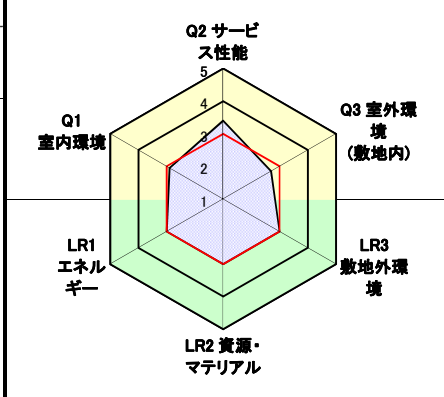
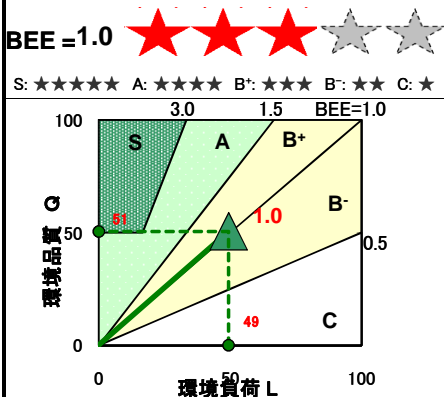
4. 新潟市の重点項目の配慮事項

緑豊かな地域との融合を目指した緑化を行い、雨水排水低減のため浸透性舗装を採用

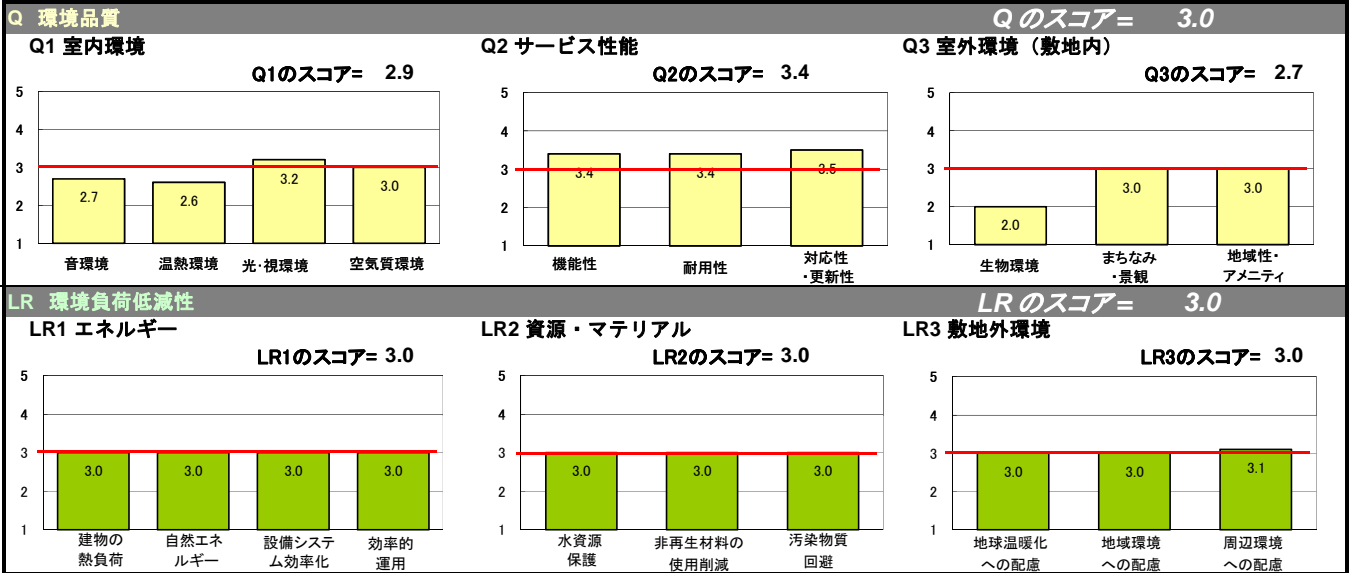
CASBEE[®]新潟 | 評価結果内訳 |

■ 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築 (簡易版) 2008年版 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.2)

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート) | **2-2 大項目の評価 (レーダーチャート)** | **2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)**



2-4 中項目の評価 (バーチャート)



2-5 設計上の配慮事項

総合 近隣住宅街と良好な街並みを形成できるよう、平屋とし屋根をかけ住宅の雰囲気表現する。		その他
Q1 室内環境 居室の窓は、外皮性能の向上の為、フロートガラスの複層ガラスを基本とした。	Q2 サービス性能 重要度係数を1.20とし、耐震性を高めた。	Q3 室外環境 (敷地内) 特に、西側空地は、近隣住民の憩いのスペースとなるよう、外構計画で舗装の仕上材や植栽計画を決定した。
LR1 エネルギー 管理棟中廊下部分に自然エネルギーの直接利用として昼光利用のトップライトを採用した。	LR2 資源・マテリアル 節水コマ 自動水洗 人感センサー洗浄等省水型機器の採用。	LR3 敷地外環境 温熱環境悪化改善として透水性舗装を採用。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される